

ライオンズクラブの薬物乱用防止教室活動

小学校における二時間授業（九十分間）の実践

三三一一A地区薬物乱用防止教育認定講師 北海道ライオンズクラブ 石山 栄次
フスキル研究会会長 サッポロシニアライオンズクラブ

今回紹介するのは、小学校五・六年生を対象

とした九十分間（小学校での二時間分）の薬物乱用防止教室指導計画と実践の様子です。薬物に関する高度な専門的知識をもちあわせないライオンズクラブメンバーが講師となっても、児童の能動的・主体的な学習場面を設定して、指導目標の達成を目指しました。

この報告は、ライオンズクラブ国際協会331A地区第十七回薬物乱用防止教育認定講師養成講座（令和二年十月五日開催）の実践講座の発表に、十二月に行った札幌市内の小学校での薬物乱用防止教室の実践結果を踏まえ、加除修正したものです。

① 指導計画を作成するに当たり、次項を前提としました。
② 小学校で開催する薬物乱用防止教室を「講師が講演・講義する場」と捉えないこと。児童にとっては「普段の学習の時間であり、能動的・主体的な学びの場面」と捉える。

③ 小学校の薬物乱用防止教室は、学ぶ機会の三分の一である。中学校でも、高等学校でも最低一回ずつは学ぶ機会がある。

④ 「Lions Quest（ライオンズクエスト）プロ

グラム」の中から、主に「ライフスキル教育

プログラム 小学生版」を取り入れる。

④ プレゼンテーションソフト（パワーポイントなど）を使用して、視覚に訴えることのできる教材を準備する。

① エンゲージ

「講師の講演・講義」と捉えようと、薬物乱用に関わる多くの知識・情報を、講師から児童へ一方的に伝える展開が予想されます。それでは、児童は受動的な学びになります。本計画では、能動的・主体的な学びの場面のメインとして「グループワーク」を取り入れてポスター作りを行っています。そのため、九十分間を頂いています。四十五分間授業の場合、「グループワーク」は行いません。ワークシートを配付して、個人ごとに記入してもらいます。

九十分授業、四十五分授業のどちらでも、「啓発動画」視聴の前に、児童に予想を立てさせる時間を設定しています。それは、九十分授業の場合は、グループワークとしてポスター作りの中で、四十五分授業の場合は個人の活動として行います。

九十分授業の場合、児童が学習のふり返りをしたり感想文を書いたりする時間が確保できません。本計画では、講師が用意した用紙に記入してもらいます。事後、担任の先生も目を通すことができて、児童の学習評価にも活用できます。

② エンゲージ

薬物乱用防止教室では、指導したいことがたくさんあります。「薬物乱用防止教室推進の手引き」にも、授業のキーポイントとして十四項目が示されています。どれも大切な内容ですが、すべて詳しく学習するとすると、小学生にとっては情報過多です。本来なら数時間の学習単元として構成できればよいのですが、なかなか難しいのが現状です。そこで、「小学校は三分の一である」と捉え、小学生の発達段階に応じた学習目標（指導目標）を設定しました。指導事項に軽重をつけ、小学生には難しい内容は、中学校や高等学校でも学ぶことができると判断しました。

本計画では、「薬物の正しい知識と薬物乱用による人体への影響を理解する」と、学習目標を設定しました。

③ エンゲージ

初めて出会う児童を前に指導する時、指導に慣れている教員にとっても、それなりの緊張を覚えます。堅い挨拶の後、いよいよ児童に話しかける瞬間、独特の緊張感が漂います。そんな

時、その緊張感をほぐしていくために、一つの活動を取り入れています。ライオンズクエスタのプログラムには「よい雰囲気の中で系統的に学習する」という考え方があります。よい雰囲気を作る活動の一つとして、「エネジヤイザー（元気の出る活動）」があります。授業の始めに行うと、緊張感が和らぎ、児童との距離が近くなったように感じます。なお、学校との打ち合わせ資料には、エネジヤイザーを「アイズブレイク」と表現しています。

「グループワーク」を取り入れているのも、ライオンズクエスタでは、学級の仲間との協力を通じた学習を重要視しているからです。

文字で書く、言葉で表すだけでなく、絵で表現する、物で表現するなど、どの子も伸び伸びと自分に合った表現ができるよう、「ポスター作り」の活動を行っています。

ライオンズクエスタプログラムは、ライオンズクラブ国際財団が著作権を有し、日本においては、青少年育成支援フォーラム（HYD）がプログラム実施団体として指定されています。普及活動は、全国のライオンズクラブ国際協会の皆様と協同で実施しています。ライオンズクラブメンバーの認定講師の皆さんの中で、まだワークショップを体験されていない方には、ぜひ、参加して頂きたいと思っています。

④ エネジヤイザー

薬物乱用防止教室では、麻薬・覚せい剤乱用防止センターが作成した啓発動画を利用される

ことが多いと思います。本指導計画でも児童に啓発動画を視聴してもらい、そこで得た情報をもとに「薬物乱用防止ポスター」を作成する活動を行っています。啓発動画は、講師の言葉での説明より、動画やイラスト、医師の説明などを取り入れ、児童の興味を引きつけ関心を高めます。

本指導計画では、パワーポイントを使用して、授業を進めています。アニメーション効果を利用して児童の興味関心を高まるように工夫しています。

学習の見通しや学習内容、薬物に関するクイズ、薬物乱用による事件事故、また「グループに分かれます」や「予想時間は3分です」など児童への指示も、スライドに文字として表示しています。そうすることにより、視覚に訴えることができるほか、無駄な時間が少なくなり、学習の進行がスムーズになります。学校は分単位で生活しています。時間厳守が大切です。学習時間が延びてしまうと、次年度、薬物乱用防止教室の開催を断られることになるかもしれません。

九十分間の薬物乱用防止教室でどのようなメリットがあつたか？

①自ら予想を立てることで「啓発動画」視聴の真剣さが高まる。

②グループワークが、児童のコミュニケーションの場になり、自分と異なる考えを知ることができる。また、多くの情報を得ることができる。

③ 能動的・主体的な学習により「薬物乱用は、ダメ。ゼッタイ」が印象に残り、理解されやすい。

④ 質疑応答の時間が確保できる。
⑤ 「ポスター」を校内に掲示することにより、異学年の児童への啓発につながる。

具体的な授業の様子

【スライド1】

授業会場のスクリーンにスライド1を映して児童の入場を待ちます。事前の打ち合わせで、司会進行は学年の先生にお願いしてあります。講師の紹介を含めた校長先生の挨拶、ライオンズクラブ会長の挨拶の後、いよいよ学習が始まります。

講師の簡単な自己紹介後、まず「エネジヤイザー」で、児童との心の距離を縮めます。児童には「頭の準備体操をしますよ」と伝えて、手拍子を利用した簡単なゲームをします。

【スライド2】

「エネジヤイザー」が済んだところで、スクリーンに注目してもらい、スライド2に進みます。授業内容のプログラムを伝え、この時間の学習の見通しをもたせます。薬物乱用防止教室を登山に例えると、見通しは登山計画です。

【スライド3〜5】

「薬物」「乱用」「防止」の言葉の意味を確認して、共有します。クイズで「薬物乱用」が身近なことだと印象付けます。

【スライド6】

学習内容を焦点化します。

【スライド7〜9】

薬物乱用による事件や事故の紹介をします。児童の多くが知ってほしいような芸能人やスポーツ選手の事件を取り上げました。新聞報道の記事を引用しました。興味関心を高めめます。

【スライド10】

乱用される危険のある薬物を紹介します。個々の作用など、詳しい説明はしません。薬物名程度にしています。

【スライド11】

保健で学習しているタバコやお酒の害についても触れています。

【スライド12】

この後、ラムネなどの駄菓子と見間違えそうなMDMAに関するクイズを出すので、MDMAに関わる事件を紹介しています。

【スライド13〜17】

三枚の写真を見せて、どれがMDMAかを当てさせます。スライド16の場面で児童に拳ささせています。ほとんどの児童が正解します。ここまでが、授業の導入部分です。

【スライド18〜19】

いよいよメインの学習に入ります。グループの人数は6人から8人になるように、グループ分けを事前におこないます。模造紙大の人体図でポスターを作りますから、他のグループと適当な間隔をとって座ってもらいます。移動と同時に、人体図と青色の付箋、6色のポスターカラーを配ります。

【スライド20〜23】

「一回でも乱用すると、人体によくないことが、起こります」と伝えて、人体への影響を予想させます。付箋に短い言葉で記入して人体図に貼らせます。例に「失明する」と書いた付箋を人体図の目の部分に貼って見せます。スクリーンの横に、移動黒板か移動式のホワイトボードを置き、そこに講師用の人体図を掲示しています。

予想は一人三つまでしていますが、時間内であれば多くてもかまいません。中には、一つしか浮かばない児童もありますが、それも想定内です。奇抜な予想内容も歓迎しています。

【スライド23】

啓発動画「愛する自分を大切に！薬物乱用はダメ。ゼツタイ」を視聴します。小学生に理解しやすい内容だと思えます。児童は、自分の予想が正しいかどうか気になりますから、とても真剣に視聴します。

【スライド24〜26】

啓発動画を視聴後、ポスター作成作業を始めていきます。赤色の付箋に、自分たちの予想になかった影響を書いて、人体図に貼っていきます。タイトルやグループメンバーの名前を書き込むように、また内容に相応しいイラストを描くよう指示します。一グループにライオンズメンバーが一人手伝っています。

完成したら、ポスターのタイトルと人体への影響を三つ発表してもらいます。一つのグループの発表が終わったら、級友に称賛の拍手をお願いします。

赤色の付箋に、自分たちの予想になかった影響を書いて、人体図に貼っていきます。タイトルやグループメンバーの名前を書き込むように、また内容に相応しいイラストを描くよう指示します。一グループにライオンズメンバーが一人手伝っています。



【スライド29〜34】

休憩後、後半の学習活動です。ここでは「薬物乱用による周囲への影響」を学びます。「波及効果」のイメージをもってもらうために、動画「雫の落ちる瞬間 水(波紋と干渉)」「牛乳(王冠現象」と波紋の写真を見せます。

「波及効果」という言葉をキーワードにして、「行ったよい行動と、それが自分自身や他の人々に与えた影響」を学びます。さらに、よくない行動(薬物を乱用した)が「波及効果」を及ぼすことも学びます。「子どもたちは薬物の有害性を理解し、また友人や家族が賛同しないこと



やくぶつ らんよう ぼうし きょうしつ
薬物乱用防止教室
令和2年12月9日(水)3~4校時
札幌市立・小学校5年生対象
サッポロシニアライオンズクラブ
北海道ライフスキル研究会
札幌市立・小学校

スライド1

プログラム
・校長先生のお話
・サッポロシニアライオンズクラブ会長さんのお話
・学習活動①「薬物乱用による人体への影響」
(15分間のビデオ視聴があります)
・学習活動②「薬物乱用による周囲への影響」
・質問コーナー
・小学生のあいさつ
・アンケート記入(教室にもどってから)

スライド2

言葉の意味(ことばの いみ)
・「薬物(やくぶつ)」とは?
「くすり」のこと
許可をもらっていない「くすり」も。
・「乱用(らんよう)」とは?
「約束」「規則」「ルール」をやがって使用すること
・「防止(ぼうし)」とは?
「やらない」「しない」「やらせない」

スライド3

問題:これは薬物乱用ですか?
・Aさんは、風邪を引いてしまいました。
のどが痛くて、せきも出ます。熱もあります。
・病院から、1日3回、毎食後飲む薬を5日分もらいました。
・Aさんは、早く治したいと思って、1度に2回分の薬を飲みました。

スライド4

答え
ズバリ!
薬物乱用です!
理由:約束を守らないで使ったので。

スライド5

今日、学習することは、**「危険(きけん)な薬物(やくぶつ)の作用」**や**「薬物乱用」**のこと
DANGER
怖(こわ)い内容だけど、**皆さんの命と将来を守るためです。**

スライド6

ミュージシャン・俳優
ミュージシャン・俳優として有名な人は、薬物乱用による健康被害に悩んでいる人も少なくありません。薬物乱用による健康被害は、一度も経験したことがない人も、必ずしも健康被害を避けることができません。

スライド7

ちようえき しやくぶつ
懲役1年6月 執行猶予3年
・コカインを摂取したとして麻薬取締法違反の罪に問われたミュージシャンで俳優の被告に対し、東京地裁は7月18日、懲役1年6月、執行猶予3年(求刑懲役1年6月)の有罪判決を言い渡した。(朝日新聞)

スライド8

警視庁 有名俳優を逮捕、
自宅で大麻所持の疑い

スライド9

乱用される危険のある薬物
・覚せい剤(かくせいざい)
・コカイン
・MDMA(LSD 2C-B マジックマッシュルーム
・マリファナ・大麻(たいま)
・ヘロイン・あへん
・シンナー、トルエン、接着剤(せっちゃやくざい)
・亜酸化窒素(シバガス)
・向精神薬(睡眠剤・ずいみんざい)など
(医師の処方のもと、正しく使う場合は除く)

スライド10

タバコやお酒も「ダメ。ゼッタイ」
・人の脳は20歳まで成長します。
・その前にタバコをすったり、お酒を飲んだりすると、脳や身体に害をもたらす。
・身体の成長が止まってしまふ。
・20歳までは、喫煙・飲酒は禁止されている。

スライド11

**有名女優を逮捕
合成麻薬MDMA所持認める
警視庁**
自宅で合成麻薬MDMAを所持していたとして、警視庁組織犯罪対策5課は有名女優を麻薬取締法違反容疑で緊急逮捕した。同容疑者は「私のものに間違いないと思います」と容疑を認めている。

スライド12

MDMA(エムディエムエイ)は どれ?
①

スライド13

MDMA(エムディエムエイ)は どれ?
②

スライド14

MDMA(エムディエムエイ)は どれ?
③

スライド15

MDMA(エムディエムエイ)は どれ?
① どれも似ているよ

スライド16

こたえは……
③でした!

スライド17

ワーク①
薬物乱用による人体への影響

スライド18

では、グループに分かれます。
分かれたら、座って静かに待ちます。

スライド19

・1回でも乱用すると人体に**よくないこと**が起きます。
どんなことだと思いますか?
影響(えいきょう)を予想(よそう)してください!

スライド20

失明する!

スライド21

グループワーク 1
・青色カードに、予想(よそう)を短い言葉で書きます。(1人3つまで)
・青色のカードを人体図にはりませう。
・5分以内でしましょう。

スライド22

では、答えはDVDで……
**「愛する自分を大切に!
薬物乱用はダメ。ゼッタイ!」**

スライド23

グループワーク 2
・相談しながら、予想になかったことを**赤色**カードに書きます。
・赤色のカードを人体図にはっていきます。
・人体図をポスターにします。
・題名や皆さんの名前を書き入れます。
・時間は10分間です。

スライド24

- ・題名には「薬物乱用はダメ!」「危険!」などの意味をもたせてください。
- ・下の枠の中に、グループのメンバーの名前を記入します。
- ・ポスターの内容に合うイラストを入れます。

スライド25

発表してください

- ・発表すること
- 1. ポスターのタイトル(題)
- 2. 人体への影響を3つ

(1分以内で!)

スライド26

はじめの列に戻りましょう。



スライド27

休憩中

きみっころし



スライド28

パート②



薬物乱用による周囲への影響

スライド29

次の映像を見てください

2つあります

スライド30



スライド31



スライド32

まわりへ広がる!



スライド33

波及効果(はきゅう こうか)

意味……波(なみ)のように 影響(えいきょう)が広がっていくこと

小石(しずく)……自分
水面に落ちた……行動(こうどう)
波(なみ)……周(まわり)への影響

スライド34

良い行動の効果

行動……体育館で気分が悪くなった年下の子どもを助けました。**波及効果**を考えよう。

良い行動をした本人(自分)には?
助けられた子には?
自分の家族には?
自分の友達には?
学校には?
地域には?

スライド35

良い行いの波及効果



自分
その子と友達になる
様になって友達増える
まわりへ広がって
学校が楽しくなる
友達
まわりへ広がる
うれしくなる
家族
自分も、親戚にもうらやむ
学校
まわりへ広がる
まわりへ広がる

スライド36

もしも、自分が薬物を乱用してしまったら……

スライド37

よくない行動の波及効果



自分
薬物を乱用する
自分自身
自分自身になる
他人に迷惑がたまる
友達
悪し心、手助けする
仲間はずれになる
まわりへ広がる
まわりへ広がる
学校
自分の薬物乱用が原因で
学校のイメージがわる
地域
まわりへ広がる
まわりへ広がる
ニュースで報道されて国のイメージがわる

スライド38

まとめ

- ・薬物乱用は、体と心をこわしてしまふ
- ・薬物乱用は一度始めたらやめられなくなる
- ・乱用される薬物は様々な種類がある
- ・正体を隠して近づいてくることもある
- ・薬を使うときは、医師や薬剤師の説明にしたがう(説明書も)
- ・薬物乱用は犯罪!

スライド39

質問コーナー?



スライド40

心の中で 3回 言います

ダメ!

ゼツタイ!

スライド41

やくぶつ らんよう ぼうし きょうしつ

薬物乱用防止教室

終わり

教室でアンケートの記入をお願いします。
お話を聞いてくださり、ありがとうございます。



スライド42

【引用・参考図書】

『Lions Quest ライフスキル教育プログラム小学生版』(青少年育成支援フォーラム 2013)

『アイズブレイク ベスト50』(青木将幸 ほんの森出版 2013)

『薬物乱用防止教室推進の手引き』(公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター ライオンズクラブ国際協会 330~337 複合協議会 2019)

『薬物乱用防止マニュアル Q & A』(公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センター 2020)

国連寄付金による薬物乱用防止プロジェクトの状況

「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金運動は、「ダメ。ゼッタイ。」普及運動と呼応して、薬物乱用を許さない、薬物乱用のない社会環境づくりのために実施されており、国連薬物犯罪事務所（UNODC）を通じて、開発途上国の薬物乱用防止活動を行っている民間団体（NGO）のプロジェクトを援助しています。

このたび、UNODC よりこれまでの国連寄付金による各プロジェクトの活動状況の報告が届きましたのでご紹介します。

【ナイジェリア】:2019年(33,520 USD)



ラゴス州教育省への最初の訪問
(2020年11月12日)



トレーニングマニュアルのレビュー及び承認書の授与



ミーティング風景



【モンテネグロ】:2018年(16,950 USD)



高校生を対象とした「薬物使用に関するワークショップ」の開催状況



【ペルー】:2018年(13,600 USD)



高校生420人を対象とした「個々の脆弱性に依じた薬物使用に関するワークショップ」